

## 会議・行事の記録

会議名称	平成28年度 第2回八雲町文化財保護審議会
会議日時	平成28年12月19日(月)13時30分～14時30分
会議場所	公民館 第1会議室
◆出席者：○文化財保護審議会委員：井上会長・長坂副会長・高橋委員・庄内委員・三浦委員。 ○教育委員会：田中教育長・足立社会教育課長・柴田文化財係長・大谷文化財係、服部熊石教育事務所主任。 ○傍聴者：なし。	
1. 開 会 2. 挨拶 田中教育長 3. 議 題 (1) 議案第1号 町指定文化財の指定について ア 事務局より、町指定文化財の候補についての説明を行い、委員より意見を聴取する。 イ 意見 (ア) 委員より 郷土資料館には3艘の丸木舟があるので、3艘とも町指定の候補としたら良いのではないか。 事務局より 検討資料として、3艘の丸木舟の資料や写真等を用意する。 (イ) 委員より 八木勘一宅（明治末～大正初）は、めずらしい工法をしており、北海道でも古い方の民家ではないか。 事務局より 現地調査や資料調査する。 (ウ) 委員より 徳川農場跡地には、熊の檻なども残されている。現在は国の用地であるが今後町としてはどの様に考えているのか。買い取りしてはどうか。民間が入るのであれば、貴重な文化財に対して保護の条件を付けられないのか。 事務局より 国立病院は3年後に撤退が決まっており、跡地利用に関してプロポーザルを行ったが応募がなかった。町として活用・整備する可能性がある。公共施設は、昭和52年に郷土資料館、昭和40年に公民館が建てられ、役場庁舎も耐震化をクリアしていない。将来の人口減に伴って、教育施設の見直しが必要と考えている。 (エ) 委員より 以前、板倉に残っていたハッカの蒸留釜はどうしたか。 事務局より ハッカ蒸留釜と言われている資料は、八雲産業株式会社から寄託を受けて	

郷土資料館に収蔵している。

(オ) 委員より

平成27年度の第2回の審議会で出された指定候補全てを、八雲産業株式会社の承認を得て指定してはどうか。

※指定候補に挙げた資料：八雲村創業余談、ヨーク、木彫り這熊（徳川義親公がスイスで購入したもの・北海道第1号の木彫り熊）、板倉、八雲焼（一部は八雲産業株式会社所蔵）、ハッカ蒸留釜（北海道で2番目に古い？）、メタセコイヤ（八雲産業株式会社敷地内に開拓当時に植えたもの）。

事務局より

次回の審議会までに、検討するための資料を用意する。

(カ) 委員より

八雲鉦山小中学校跡地で地熱発電の開発が進んでおり、少し離れているが八雲鉦山墓地は江戸期のもので、町指定文化財にするか、埋蔵文化財包蔵地に指定して保護する必要があると考えられる。

事務局より

来春に現地調査のための草刈りをして、測量や写真撮影等を行いたい。

(2) 報告第1号 平成28年度文化財関係事業（上半期）の実施報告及び決算について事務局より説明し、質疑無し。

(3) 報告第2号 平成28年度文化財関係事業（下半期）の実施報告及び決算について事務局より報告し、質疑なし。

(4) 報告第3号 平成28年度埋蔵文化財保護業務について事務局より報告し、質疑無し。

(5) 報告第4号 平成28年度郷土資料の寄贈状況について事務局より報告する。

(ア) 委員より

収蔵する場所はあるのか。

事務局より

資料整理して、収蔵スペースを確保したい。

(6) その他

事務局よりア～ウまでの説明を行う。

ア 八雲町内で発見された人骨について

平成28年8月に東野地区で発見された人骨について、発見の経緯やその後の処理について報告を行う。

イ 保存樹の被害について

平成28年9月6日に発生した台風10号により被害を受けた保存樹の被害状況と、梅村庭園内のスギやヒバの倒木処理について報告を行う。

ウ 郷土資料館所蔵の具足の鑑定結果について

平成 28 年 11 月に愛媛県西条市立小松温芳図書館郷土資料室職員（日本甲冑武具研究保存会評議委員）に、画像による鑑定をしていただいた結果についての概要報告を行う。

エ 文化財の防犯対策について

委員より

熊石地域の無住寺に所蔵されている仏像などが盗難に遭うのではないかと心配している。

事務局より

警察から受けたアドバイスを紹介する。

また、教育委員会としては、指定文化財の所有者に対して「文化財の防犯対策について」（平成 27 年 4 月 30 日付け財伝文第 8 号）別添の「文化財の防犯対策の強化のお願い」を配布し、防犯対策の徹底について周知している。

オ 文化財担当者について

委員より

観光や町づくりのために、文化財の担当者をもう一人増やすことが出来ないのか。

事務局より

役場全体で職員の削減を行っているので、現状では職員増は難しいと考えられる。

(以上)